

介護保険事業担当課からのお知らせ

施工業者の方へ

介護保険の住宅改修と助成事業の住宅改造併用の注意事項

訪問調査、本人の動作確認日までに必ず読んでください。

1 訪問調査について

住宅改造の訪問調査では、**住まいの改良相談員（建築士・作業療法士等）**が、対象者本人の身体状況や家屋状況の確認を行い、**必要性・緊急性を判断し**、対象箇所を提案します。

介護保険の住宅改修と助成事業の住宅改造を併用して効果的な工事を行うにあたり、**住まいの改良相談員とケアマネジャー等が相談や確認をとりながら工事の提案内容を決定します。**

2 住宅改造の、住まいの改良相談員からの提案後の手順

提案内容をもとに改修箇所ごとに本人の動作確認を行う
動作確認は本人（家族）・ケアマネジャー・施工業者と一緒に

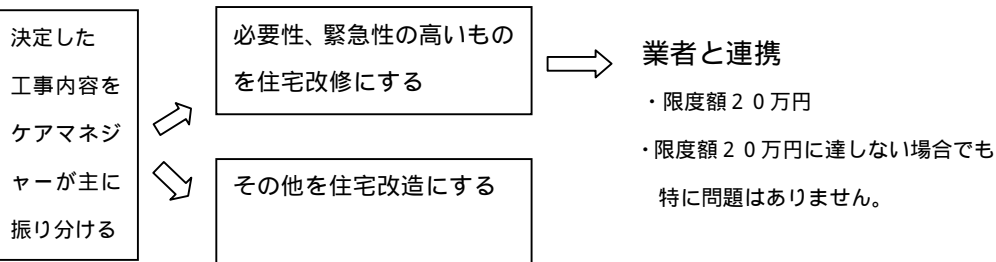
介護保険の住宅改修の申請に添付する施工計画図面（施工業者作成分）は、本人の動作確認を行っていただかなければ描けないものとなっています。本人にとって、適切な住宅改修が行われるよう、実際に取り付ける手すりの長さ、床からの取り付け高さ、段差解消では、現状の高さからどれくらい解消（軽減）するのかなど、具体的に記入をいただいています。



本人の移動動作の状況から

介護保険の住宅改修と助成事業の住宅改造に振り分ける

振り分けは、本人の身体状況や介護の状況を把握しているケアマネジャー（いない場合は住環境コーディネーター等）が主として行ってください。





理由書の内容に沿った書類を作成

写真・施工計画図面・内訳書の作成

申請書類の記入方法や施工計画図の手引きなどは、尼崎市ホームページ「住宅改修費支給のご案内」にあります。

介護保険の住宅改修で対象工事となるもの

- ・現在の身体状況から必要性が高いもの
- ・介護保険の対象工事であること

(1) 手すりの取り付け (2) 段差の解消 (3) 滑りの防止及び移動の円滑化のための床又は通路面の材料の変更 (4) 引き戸等への扉の取り換え (5) 洋式便器等への便器の取替え (6) その他(1)から(5)の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修

増改築工事は対象外ですが、廊下の拡幅にあわせた手すりの取り付け、便所の拡張にともなう和式便器から洋式便器への取替えは、手すりの取り付けや便器取替えの費用に限って、住宅改修の支給対象となります

住宅改修の申請書類は、理由書と施工業者が作成する書類（施工計画図、写真、内訳書等）との整合性を審査します。住宅改修と住宅改造に振り分けた工事内容について、本人、家族、施工業者に説明をお願いします。理由書の内容と施工業者の書類で、振り分けた工事内容が違いますと、書類審査が進まず、工事の承認が遅くなりますので、ご注意ください。

ご不明な点は、住宅改修または住宅改造の担当者に、お問い合わせください。

問い合わせ先

【住宅改修のこと】尼崎市介護保険事業担当（電話：06-6489-6350）

【住宅改造のこと】尼崎市社会福祉協議会・改造担当(電話：06-4300-3020)